

事業実績（平成26年度）

事例2 リハビリテーション部との 患者情報の共有不足

起案側：看護師

関連側：リハビリテーション科

改善前

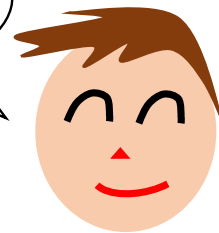
看護師はリハビリテーションを受けている患者への個別的な情報を知ってケアに活かしたいと考えているが、情報を共有する機会を得にくい。



改善後

カンファレンスの時間帯が合わないので、病棟リハの際に、患者情報の共有を行うこととした。

〇〇様は、関節が硬くなっています。



効果

日常生活の中で、訓練に即したケアを行うことができ患者に安全かつ効率的なケアが行える

費用

なし。